

(1) 協働による「共生の市政」の推進

○木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成24年3月末現在進捗状況）

改革項目	実施内容	担当課	前年度 評価区分	進行管理（効果見込額 単位：千円）					計画期間中（H20～24） の財政効果見込額 平成20～23年度 の財政効果額	平成23年度取組方針 （公表済事項）	平成23年度取組実績	平成24年度取組方針
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
1 NPO等市民活動の支援	① 市ホームページ上で検索できるシステムの構築 H20.4.1現在 NPO法人数12団体 H21.4.1現在 NPO法人数14団体 H22.4.1現在 NPO法人数16団体 H23.4.1現在 NPO法人数17団体	学研企画課	行動計画	調査・研究	→	実施	/	/				
				調査・研究	→	実施	/	/				
2 自主防災組織の育成支援	① 自主防災組織等活動助成制度の充実 H20 組織数19団体(組織率43%) H21 組織数21団体(組織率58%) H22 組織数25団体(組織率65%) H23 組織数25団体(組織率70%)	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒		加茂町菟並地区や州見台地区からの自主防災組織についての相談があり、組織立ち上げに関する支援等を行う。引き続き、市内の自主防災会活動が充実するように支援していく。	引き続き、加茂町菟並地区・州見台地区への支援を実施する。転入等による新しい住民の方に対し、自治会への加入を勧め、地域の防災力を上げるように啓発を行う。	
			実績(B)	継続実施	⇒	⇒	⇒					
	② 防災リーダー養成講座や研修会への参加案内	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒		平成23年度においても、リーダー育成を目指し、研修会等の案内を送付する。	リーダー育成を目指し、研修会等の案内を送付し、各種機会の提供に努めた。	
			実績(B)	継続実施	⇒	⇒	⇒					
	③ 木津川市自主防災会全体会議の開催	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒		平成23年度においても自主防災連絡会を開催し、事務連絡と研修等を実施する。	平成23年7月13日に自主防災連絡会を開催し、気象と災害についての研修会を実施した。	
			実績(A)	継続実施	⇒	⇒	⇒					
3 市民提案型助成制度の創設	① 市民提案型助成制度の創設	学研企画課(関係課)	行動計画	調査・研究	→	→	段階実施	⇒		引き続き、先進事例を調査するとともに、京都府地域力再生プロジェクト事業交付金及び地域活動支援交付金との役割分担についても検討を進める。	引き続き、先進事例を調査するとともに京都府地域力再生プロジェクト事業交付金を活用する。	
			実績(B)	調査・研究	→	→	→	→				
4 市民参加の「ガイドライン」の策定	① 市民参加の「ガイドライン」の研究	学研企画課(関係課)	行動計画	調査・研究	→	→	素案検討	→		引き続き、先進事例の調査・研究を進める。	引き続き、先進事例の調査・研究を進めた。	
			実績(B)	調査・研究	→	→	→	→				
	② 「市民参加条例」の検討	学研企画課	行動計画	調査・研究	→	→	素案検討	→		引き続き、先進事例の調査・研究を進める。	引き続き、先進事例の調査・研究を進めた。	
			実績(B)	調査・研究	→	→	→	→				
5 コミュニティ施策の検討	① コミュニティ施策の推進	関係課(総務課)	行動計画	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒		引き続き、地域長会議を開催し、地域コミュニティ組織の活性化、新たな設置に向けた情報提供や支援を継続する。	引き続き地域長会議並びにブロック会議等を開催し、地域コミュニティに関する施策等の説明を行った。また、今年度から新たに各行政地域が抱える課題等について、複数の行政地域が集まって意見(情報)交換できる場としてブロック会議を11月11日、12日、12月2日に開催し、地域の円滑な活動の促進に取り組んだ。	
			実績(A)	調査・研究	実施	⇒	⇒					
	② 行政地域制度の創設	総務課	行動計画	調査・研究	実施	/	/	/				
				調査・研究	実施	/	/	/				
6 ごみゼロ運動の推進	① 3R活動を通したごみゼロ運動(ごみの減量化)の推進 H19 市民1人当たり平均排出量 可燃物162kg、不燃物42kg、粗大10kg H20 市民1人当たり平均排出量 可燃物161kg、不燃物41kg、粗大9kg H21 市民1人当たり平均排出量 可燃物161kg、不燃物40kg、粗大9kg H22 市民1人当たり平均排出量 可燃物157kg、不燃物41kg、粗大9kg H23 市民1人当たり平均排出量 可燃物158kg、不燃物40kg、粗大9kg	まち美化推進課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒		引き続き、ごみ減量化の基本概念3Rの啓発を行うとともに、廃棄物減量等推進員の会など関係団体と協働でごみ減量化の推進につながる各種イベントや講習会の開催、また、随時、広報等による啓発を行っていく。	引き続き、ごみ減量化の基本概念3Rの啓発を行うとともに、廃棄物減量等推進員の会など関係団体と協働でごみ減量化の推進につながる各種イベントや講習会の開催、また、随時、広報等による啓発を実施した。	
			実績(A)	継続実施	⇒	⇒	⇒					

(1) 協働による「共生の市政」の推進

○木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成24年3月末現在進捗状況）

改革項目	実施内容	担当課	前年度 評価区分	進行管理（効果見込額 単位：千円）					計画期間中（H20～24） の財政効果見込額 平成20～23年度 の財政効果額	平成23年度取組方針 （公表済事項）	平成23年度取組実績	平成24年度取組方針
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
7 人材バンク制度の導入	① 人材リスト登録事業の実施 H20.4.1 人材リスト登録者数 51人 H21.4.1 人材リスト登録者数 59人 H22.4.1 人材リスト登録者数 67人 H23.4.1 人材リスト登録者数 71人 H24.4.1 人材リスト登録者数 76人	人権推進課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、市の審議会等委員の男女構成比の均等確保をはじめ、各種講座等の講師選定その他男女共同参画社会を推進するために、前年度登録実績数の1割増を目指す。また、人材リスト登録管理台帳の整理を行う。	登録者全員に今後の登録の有無を確認し、人材リスト登録管理台帳の整理を実施した。 平成23年度においては、人材リストから各種講座の講師として11人を活用した。	引き続き、人材リストへの登録を促進し、各審議会等委員の男女構成比の均等確保をはじめ、各種講座等の講師選定、その他男女共同参画社会を推進するために、全庁全部署に登録者情報を提供し、活用の推進を図っていく。また、登録者の募集についても、市ホームページ及び広報にて周知する。	
実績(B)	継続実施	⇒	⇒	⇒								
8 パブリック・インボルの導入	① パブリック・インボルの実施	関係課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒				
9 アダプトプログラムの導入	① アダプトプログラムの実施 H19 登録実績 28団体 697人 H20 登録実績 31団体 936人 H21 登録実績 36団体 1,029人 H22 登録実績 39団体 1,057人 H23 登録実績 43団体 1,224人	関係課 （まち美化推進課）	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、制度の啓発及び登録団体の拡大に努める。	制度の啓発及び登録団体の拡充のため、市広報への取り組み事例を紹介するとともに、アダプトサインの配布案内を実施団体に送付し、実施箇所への掲示をお願いした。また、参加者の増加に伴い、ひばさみ等貸出物の補充を行った。また、活動支援策として、清掃用具の支給、貸出、ごみ回収、花苗配布等を継続実施した。	引き続き、制度の啓発及び登録団体の拡大に努める。	
実績(A)	継続実施	⇒	⇒	⇒								
10 審議会・協議会の活性化	① 公募等の指針の策定	人事秘書課	行動計画	調査・研究	→	実施	/	/				
	② 審議会等の運営方針の策定	関係課 （人事秘書課）	行動計画	継続実施	⇒	⇒	/	/				
				継続実施	⇒	本格実施	/	/				
11 意見提出制度の導入	① 意見提出制度の実施（パブリックコメント） H19 パブリックコメント 5件 H20 パブリックコメント 5件 H21 パブリックコメント 4件 H22 パブリックコメント 3件 H23 パブリックコメント 5件	学研企画課 （関係課）	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、政策会議の提案決裁等により、パブリックコメントの実施の必要性をチェックしていく。	下記の5件について、パブリックコメントを実施した。 【実施案件】 ・木津川市水道ビジョン（案） ・木津川市待機児童の解消対策ガイドライン（案） ・木津川市学研木津北・東地区土地利用計画（案） ・第6次木津川市高齢者福祉計画・第5期木津川市介護保険事業計画（案） ・木津川市犯罪被害者等支援条例（案）	引き続き、政策会議提案文書等により、パブリックコメントの必要性をチェックしていく。	
実績(A)	継続実施	⇒	⇒	⇒								
12 ホームページの拡充等による情報提供の推進	① 職員講習会・説明会の実施（毎年1回開催）	学研企画課 （全課）	行動計画	実施	調査研究	実施	⇒	⇒	平成23年度中にホームページリニューアルを実施していくために、新しいホームページの設定、システム業者の選定、情報の載せ換え等の事務を順次行う。	平成24年4月1日からの市ホームページのリニューアルを実施するために、新しいホームページの設定、システム業者の選定、情報の載せ換え等の事務及び作業を進めた。	平成24年4月1日から、市ホームページのリニューアルを実施し、新入職員や講習未受講の職員を対象に、ホームページ講習会を開催するとともに個別サポートを展開する。	
実績(A)	未実施	調査研究	→	実施	⇒							
	② 情報バリアフリーの推進	学研企画課 （全課）	行動計画	調査・研究	→	実施	⇒	⇒	ホームページリニューアルの際に、情報バリアフリーも考慮したホームページにしていく。	平成24年4月1日からの新たなホームページで情報バリアフリーに対応するべく、準備作業を行った。	平成24年4月1日からのホームページリニューアル時に、情報バリアフリーも考慮したホームページシステムの導入を行い、情報バリアフリーの推進に努めていく。	
実績(A)	調査・研究	→	→	準備	実施							
13 広報を「お知らせ型」から「問題提起型」「提案型」に拡充	① 職員向け講習会の実施（毎年1回開催）	学研企画課 （全課）	行動計画	調査・研究	→	段階実施	⇒	⇒	職員向け講習会の実施等の広報記事充実のための取り組みを、ホームページの研修に併せて実施する。	広報誌発行の参考とするため、平成23年11月号に「広報きづがわに関するアンケート調査」を実施し、平成24年3月号にアンケート調査の結果を公表した。今後、貴重なご意見を参考に、親しみやすい広報づくりに努める。	引き続き、アンケート結果を参考に、職員向け講習会の実施等の広報記事充実のための取り組みを、ホームページの研修に併せて実施する。 また、広報のアクセシビリティを高め、より親しみやすい広報をめざす。	
実績(B)	調査・研究	→	段階実施	⇒								
14 イベントの整理統合と民営化	① イベントの整理統合と民営化（商工会等による旧町秋祭りの開催）	関係課 （観光工商課）	行動計画	実施 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	継続	市内3商工会がそれぞれに取り組み始めた地域まつり（やましろまつり、木の津まつり、加茂あきんどまつり）に対する補助	前年度と同様、地域まつりへの補助を実施	
実績(A)	実施 3,377	⇒ 3,377	⇒ 3,377	⇒ 3,000	⇒ 3,000	歳出17,500千円減 歳出13,131千円減						
15 大学等との連携の強化	① 大学との連携	学研企画課 （関係課）	行動計画	調査・研究	→	段階実施	⇒	⇒	「赤ちゃんフォーラム」を継続実施するとともに、引き続き、各種連携希望事業の掘り起し・マッチングを進める。また、京都府立大学公共政策学部のインターンシップを受け入れる。（総合計画及び行財政改革部門）	同志社大学との連携による「赤ちゃんフォーラム」を実施した。 京都府立大学公共政策学部から実施計画及び行財政改革に関するインターンシップとして3名の受け入れを行った。 京都大学大学院地球環境学部から生物多様性に関するインターンシップとして1名の受け入れを行った。	引き続き、同志社大学との連携による「赤ちゃんフォーラム」を継続実施するとともに各種連携希望事業の掘り起し・マッチングを進める。現時点では京都府立大学公共政策学部から実施計画及び行財政改革に関するインターンシップの受け入れを行う。	
実績(A)	調査	段階実施	⇒	⇒								

(1) 協働による「共生の市政」の推進

○木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成24年3月末現在進捗状況）

改革項目	実施内容	担当課	前年度 評価区分	進行管理（効果見込額 単位：千円）					計画期間中（H20～24） の財政効果見込額 平成20～23年度 の財政効果額	平成23年度取組方針 （公表済事項）	平成23年度取組実績	平成24年度取組方針
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
タウンミーティング 16 やワークショップ の実施・拡大	① タウンミーティングの実施	学研企画課 (全課)	行動計画	継続 実施	⇒	⇒	⇒	⇒		引き続き、必要に応じて、ワークショップやタウンミーティング を実施する。	地域公共交通などについて、ワークショップを実施した。 なお、タウンミーティングは該当案件がなかったため実施し ていない。	引き続き、必要に応じて、ワークショップやタウンミーティング を実施する。
				継続 実施	⇒	⇒	⇒					
タウンミーティング 16 やワークショップ の実施・拡大	② ワークショップの実施	関係課 (建設課)	行動計画	継続 実施	⇒	⇒	⇒	⇒		引き続き、必要に応じて、ワークショップやタウンミーティング を実施する。	京都府と当市並びに住民で、工事施工に向けての協議を2 回行った。	一級河川井関川の河川管理者である京都府と当市並びに 住民が参加する方法等を協議し、可能な事業から実施でき るよう協議を行う。
			実績(B)	継続 実施	⇒	⇒	⇒					
17 財務諸表の公表	① 財務諸表(4表)の公表	財政課	行動計画	調査 ・研究	実施	⇒	⇒	⇒		今後も継続して取り組む。	継続	継続
			実績(A)	調査・ 研究	実施	⇒	⇒					
18 予算、決算等財 政状況の公表	① 予算、決算等財政状況の公表(6 月、12月)	財政課	行動計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒		今後も継続して取り組む。	継続	継続
			実績(A)	実施	⇒	⇒	⇒					